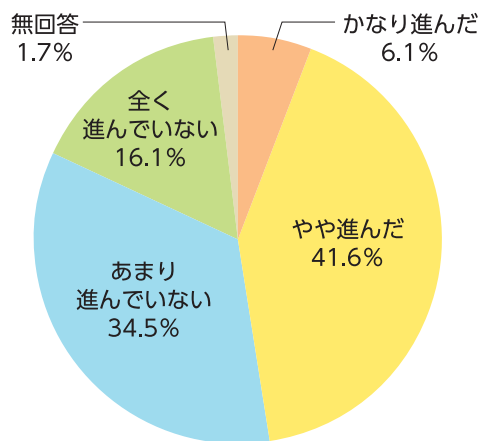


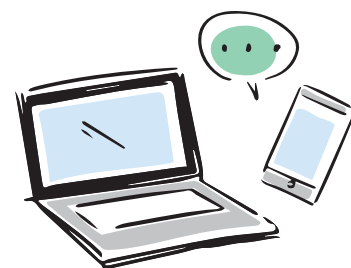
デジタル化への取り組みに関する調査結果

当研究所では、2021年度に「デジタル化への取り組み」に関するアンケート調査を行いました。デジタル化への取り組み状況および業績への影響、社内の意識などをお聞きしました。本号では主な調査結果をお届けします。
※詳細は当所(姫路経済研究所)ホームページをご覧ください。

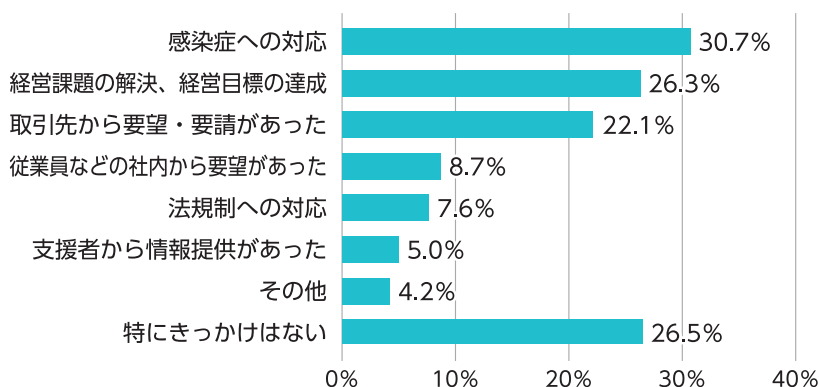
1. デジタル化の進み具合(新型コロナウイルス感染症の発生前から現在にかけて、概ね3年以内の取り組み)



デジタル化の進み具合について、新型コロナウイルス感染症拡大期を通して、47.7%が社内のデジタル化が進んでいると回答。
([かなり進んだ]、[やや進んだ]の合計回答率)

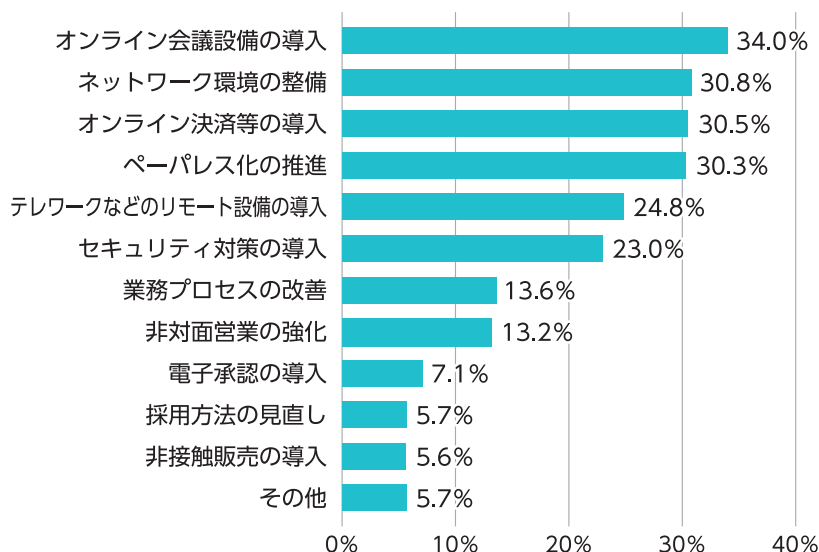


2. デジタル化に取り組むきっかけ(複数回答可)



デジタル化に取り組むきっかけとしては、新型コロナウイルス感染症への対応が、回答のトップであった。

3. デジタル化に向け新たに導入したもの(複数回答可)



オンライン会議設備の導入やネットワーク環境の整備、オンライン決済等の導入、ペーパーレス化の推進が上位であった。



ご協力いただいた皆さまに厚くお礼申し上げます。今後も引き続き、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査概要

- (1) 調査期間
2021年9月29日～2021年10月22日
- (2) 調査対象先
姫路商工会議所・姫路市商工会の会員事業所
- (3) 回答率

調査事業所数	回答事業所数	回答率
5,819	1,150	19.8%

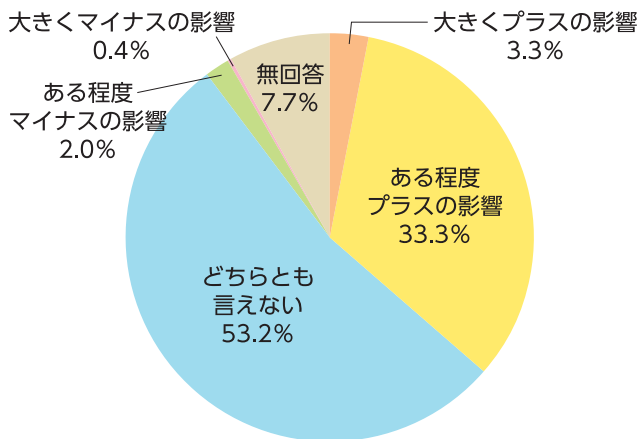
(4) 規模別構成比

規模	事業所数	構成比
小規模	728	63.3%
中規模	375	32.6%
大規模	47	4.1%

(5) 業種別構成比

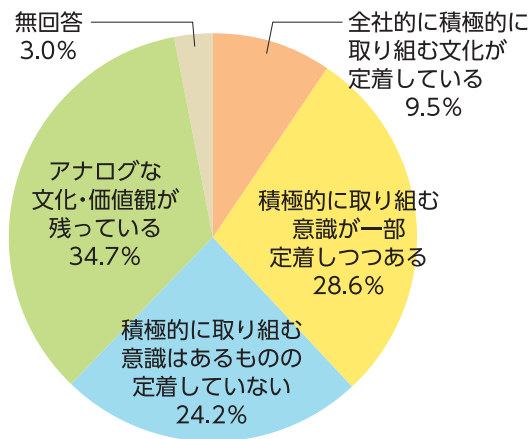
業種	事業所数	構成比
建設業	226	19.7%
製造業	211	18.3%
卸売業	112	9.7%
小売業	141	12.3%
サービス業	246	21.4%
その他	214	18.6%
合計	1,150	100.0%

4. デジタル化に向けた取り組みによる業績上の影響



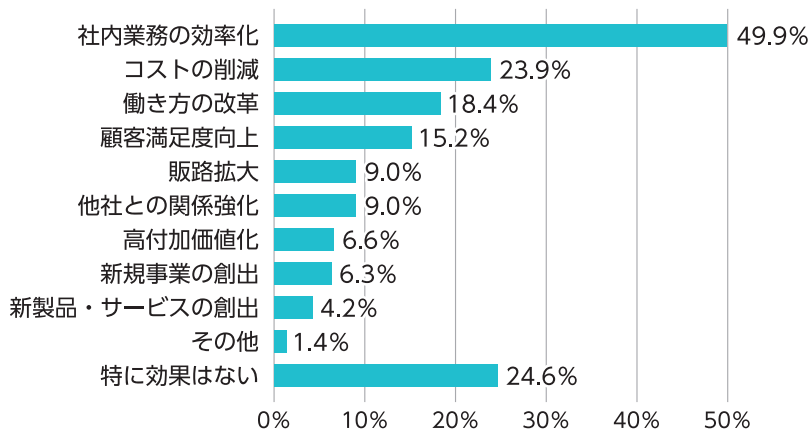
36.6%がデジタル化に向けた取り組みにより業績にプラスの影響と回答。(「大きくプラスの影響」、「ある程度プラスの影響」の合計回答率)

5. デジタル化に対する社内の意識



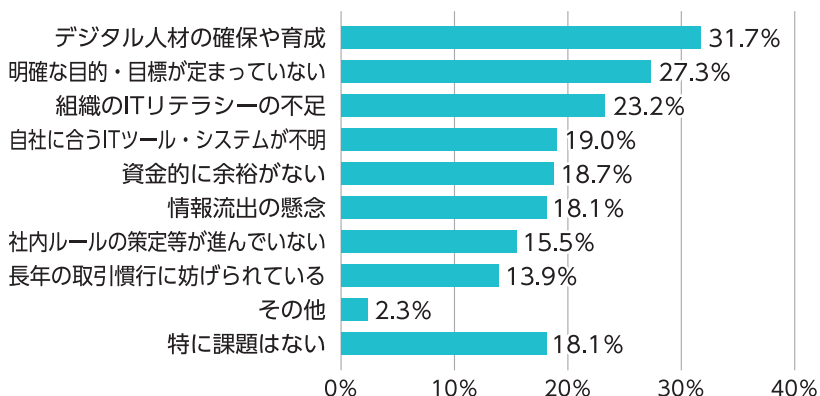
58.9%がデジタル化の意識が定着していないという結果となった。(「積極的に取り組む意識はあるものの定着していない」、「アナログな文化・価値観が残っている」の合計回答率)

6. デジタル化に取り組む上で得た効果(複数回答可)



デジタル化に取り組む上で得た効果は、約半数が「社内業務の効率化」と回答。デジタル化への対応は業務改善に寄与している。

7. デジタル化に取り組む上での課題(複数回答可)



デジタル人材の確保や育成、明確な目的・目標が定まっていない、組織のITリテラシーの不足が上位であった。